

10月23日（木） 2025年度秋季Ⅰ部Ⅱ部入替戦2回戦

【試合結果】

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
阪公大	2	0	1	0	0	0	0	0	0	3
大観大	0	0	0	1	0	3	2	0	X	6

大阪公立大学(3塁側)

対

大阪観光大学(1塁側)

【打者成績】

打順	守備	名前	学年	出身校	打数	安打数	打点	
1	中	根来	3	府立生野	5	1	0	
2	三	田中大	2	彦根東	4	0	0	
	打	石守	4	札幌開成中等教育学校	0	0	0	
3	一	菱田	2	関西大倉	5	3	0	
	走	京橋	4	清教学園	0	0	0	
4	捕	小田竜	4	県立伊丹	5	1	0	
5	指	寺本	3	鳥取西	3	0	2	
6	右	野田	2	須磨学園	4	2	1	
7	左	林	2	大阪明星	3	0	0	
	打	田中創	3	金沢桜丘	1	0	0	
	左	前田	3	須磨学園	0	0	0	
8	遊	疋田	4	広島新庄	4	1	0	
9	二	樋口	4	刈谷	3	1	0	
投		片山	3	府立池田	-	-	-	
		山本	3	清教学園	-	-	-	
		宮田	2	倉敷青陵	-	-	-	
		川田	3	奈良県立郡山	-	-	-	
合計	三振	四死球	犠打・犠飛	併殺打	盗塁	打数	安打数	打点
	2	3	0	0	2	37	9	3

【打者成績】

打順	守備	名前	学年	出身校	打数	安打数	打点	
1	中	藤末	2	京都翔英	4	0	0	
2	二	和泉	1	三田松聖	5	0	1	
3	左	小川	1	神戸国際大学附属	4	2	0	
4	指	金野	3	大阪商業大学堺	5	2	0	
5	遊	京極	3	上宮	3	3	0	
6	一	福島	3	立正大学淞南	1	1	0	
7	三	川田	1	東海大学付属静岡翔洋	3	2	1	
8	右	吉野	3	日本航空	4	0	0	
9	捕	勝田	2	京都翔英	3	2	1	
投		平田	4	神戸国際大学附属	-	-	-	
		山田	1	立正大学淞南	-	-	-	
		吉原	1	県立和歌山	-	-	-	
合計	三振	四死球	犠打・犠飛	併殺打	盗塁	打数	安打数	打点
	5	7	1	2	2	32	12	3

【投手成績】

名 前	回 数	投 球 数	打 者 数	打 数	被 安 打	奪 三 振	四 死 球	失 点	自 責 点
片山	5	83	22	18	7	2	3	1	1
山本	1	38	8	8	4	2	0	3	2
宮田	1/3	18	5	2	0	1	3	2	2
川田	1 2/3	22	5	4	1	0	1	0	0
合計	8	156	40	32	12	5	7	6	5

【投手成績】

名 前	回 数	投 球 数	打 者 数	打 数	被 安 打	奪 三 振	四 死 球	失 点	自 責 点
平田	6	86	25	25	6	0	0	3	2
山田	2	30	9	8	2	1	1	0	0
吉原	1	24	6	4	1	1	2	0	0
合計	9	140	40	37	9	2	3	3	2

【戦評】

I 部残留のかかった大一番。「絶対に今日決めるんだ」と強い想いをもちつつ、冷静さを忘れずにチーム一丸で臨みました。

初回、いきなり試合が動きます。先頭の根来（経3・府立生野）が安打を放つと、盗塁を決め二塁へ。さらにチャンスを広げたいところでしたが、送りバント失敗で惜しくも一死一塁となります。しかし、昨日絶好調の菱田（農2・関西大倉）と小田竜（工4・県立伊丹）が連打で再びチャンスメイクすると、併殺崩れの間に1点先制。さらに野田（現2・須磨学園）にも適時打が飛び出し、この回2得点の好調な滑り出しとなります。

一方、先発を任されたのは片山（生3・府立池田）。初回、二死から連打を浴びますが、疋田（工4・広島新庄）の好守もあり無失点に抑えます。2回には安打と四球で無死一二塁とされるものの、ここも疋田の好守により見事なトリプルプレー。3回は三者凡退に抑え、相手に流れを渡しません。

3回表、菱田が二塁打を放つと、相手の失策もあり一死一三塁。再び併殺崩れの間に1点を追加します。

4回裏、安打と死球で二死満塁のピンチを招くと、適時打により1点を返されますが、その後をしっかりと抑え、最少失点にとどめます。5回裏は出塁を許しながらも要所を締め、5回1失点の好投で片山はマウンドを降ります。

6回到登板したのは山本（文3・清教学園）。先頭から三連打を許すと、味方の失策や適時打などで3点を失い、一気に逆転を許してしまいます。

さらに7回裏、山本に代わりマウンドに上がった宮田（工2・倉敷青陵）が複数の四死球を与え、一死満塁。またしても味方の失策が絡み、2点を奪われます。

なんとか追加点を得たい攻撃は7回。樋口（工4・刈谷）が内野安打を放つものの、後続が抑えられます。

8回には寺本（商3・鳥取西）の四球と野田の二塁打で二死二三塁とチャンスを広げますが、ここも無得点。苦しい攻撃が続きます。

8回裏は、7回途中からマウンドに上がった川田（理3・奈良県立郡山）が引き続き登板。二死から安打を許しますが、捕手小田竜の牽制により3人で終え、最後の攻撃に繋げます。

なんとしてでも得点を挙げたい最終回。樋口と代打石守（経4・札幌開成中等教育学校）が四死球で出塁すると、菱田も安打で繋ぎます。この二死満塁の大チャンスをものにしたいところでしたが、最後は三振に打ち取られ試合終了。3－6で敗戦いたしました。